

現代インド地域研究 東京大学拠点 (TINDAS)



TINDAS 第1回研究会

「前近代移行期日本とインドの地域社会と暮らし——真にグローバルな比較史のために——」

日時： 2014年6月19日(木) 17:15～19:30

場所： [東京大学・弥生キャンパス・農学部・1号館3階農経会議室\(324教室\)](#)

※ (いつもとは研究会の会場が異なります。ご注意ください。) ※

プログラム

第1報告 小川道大(東京大学人文社会系研究科/NIHU 研究員)

近世インドの在地社会における職農関係の再考

——18-19世紀インド西部のワタン制度に注目して——

第2報告 戸石七生(東京大学農学生命科学研究科 講師)

近世日本における地域社会とワタン体制

——農本主義的社会分業の日印比較史研究に向けて——

解題

「これまで、人文科学と社会科学のありとあらゆる分野で国際比較研究が行われてきた。だが、多くの比較研究では、議論の枠組みが適切に設定されていなかったため、対象となった国々の共通点や相違点の発見は、単にノイズを生産するにとどまった。

そのような現状において、日本とインドの組み合わせは、単なるノイズの生産にとどまらない比較研究が大いに期待できる珍しいケースである。両国の社会構造は農本主義的地域社会分業に規定されているため、比較に相応しい議論の枠組みを設定することは容易だからである。TINDAS第1回研究会では、社会経済史・家族史・農業史の同時代の史料を提示しながら日印比較史研究の方法と将来性を実証的に検討する」

参加対象： 一般参加歓迎 (資料準備の都合上、下記まで事前のご連絡をお願いいたします)

連絡先： 小川 道大 michi_19th_century@hotmail.com または michi_19th_century@yahoo.co.jp ([at]を@に変えて下さい)